JC NEWS

9月号

Vol.803

- 長崎JCを深堀る！
- 九州コンファレンス2025in延岡
- HOPE NAGASAKI
  ～長崎から未来へ希望を繋ぐ～
- All Jayceesシン・大懇親会のご案内

一般社団法人長崎青年会議所

今後のJCニュースに活かして参ります！！アンケートのご回答を宜しくお願い致します。

一般市民

一般の方は
👉コチラ

特別会員

特別会員は
👉コチラ

正会員

正会員は
👉コチラ

目次

理事長挨拶 3P

8月例会・臨時総会 5P

74年度室長・常務理事予定者紹介 6P

74年度委員長・事務局長予定者紹介 8P

特集 長崎JCを深堀る！ 10P

九州コンファレンス2025in延岡 15P

活動報告 16P

第74回全国大会佐賀大会 17P

All Jayceesシン・大懇親会のご案内 18P

じゃがいも倶楽部 19P
All Jaycees 開催記念 10月例会のご案内

HOPE NAGASAKI 20P
～長崎から未来へ希望を繋ぐ～

理事長挨拶

次年度の始まり　新たな出逢い

すっかり秋らしい季節になってきました。といいたいところですが、まだまだ残暑の厳しい日々が続いております。知らぬ間に疲労や熱が体に蓄積し、数日後に発症する「蓄積型熱中症」にも、どうぞ十分ご注意下さい。

さて、９月を迎え、長崎青年会議所の第７４年度（２０２６年）理事予定者も出そろい、いよいよ次年度の足音が近づいて参りました。各会員におかれましても、次年度の所属委員会が決定し、９月には各委員会の第１回会議（初顔）が開催される時期となります。本年度と次年度が交錯するこの時期、会員一人ひとりに求められる役割もまた変化していくことでしょう。だからこそ、ＪＣ活動から得られる経験には限りがなく、そして大きな魅力があるのです。

そこで過ごす時間をより実りあるものにするためには、個々が独りよがりになることなく、多くの会員と信頼関係を築くことが何よりも大切です。会社であれば、賃金という対価のもと労働契約に基づいて義務を果たすことになります。しかし私達会員には、雇用関係も利害関係もありません。「動きたい」「力になりたい」と思う気持ちがその

根源となります。では、どのような人に心惹かれ、その人のために尽くしたいと思うのか。どうすれば人を惹きつけることができるのか。まさにこの問いこそが、利害関係のないひと同士で信頼を築く上での鍵となります。

難しく考える必要はありません。誰かに惹かれるからこそ「一緒に頑張ろう」と思えるのです。その「魅力」は、誰もが持ち、誰もが発揮できるものです。出し方が分からなければ、まず「自分はどんな人に惹かれるのか」を振り返ってみると良いでしょう。そして人から学び、自分なりに消化し、実践していく。その積み重ねが新たな自分をつくり、信頼関係を築く力となります。その経験から得たものは、充実したＪＣライフをもたらすのみならず、家庭や社業にも活かされていくのです。

本号の「長崎ＪＣを深堀る！」では、長崎の伝統行事「長崎くんち」を特集しております。私自身、２８歳で長崎に移り住んだときに初めて出会い、以来、このまちに根付く文化の奥深さに毎年驚かされています。長崎に暮らす青年経済人だからこそ、地域の文化を理解し、それを形づくり継承してきた市民の姿に思いを馳せるきっかけとしていただければ幸いです。

8月例会・臨時総会

8月4日(月)、ホテルニュー長崎3階「鳳凰閣東」にて8月例会・臨時総会が開催されました。

例会第1部では、種田理事長より7月の振り返りと、被爆80年を迎えるにあたり平和について考えてほしいと挨拶がありました。また、各委員会・事務局より工夫を凝らした委員会報告がありました。

第2部の新入会員承認式では、種田理事長より、新入会員を代表して折式田一尊君へJCバッジと入会認証書が授与されました。本年度は24名の新たな仲間を正式に長崎JCの一員として迎え入れ、総勢115名の仲間とともに今後も活動・運動を展開して参ります。

臨時総会では、第1号議案で2026年度理事長予定者の寺澤孝憲君より次年度を担う理事候補者16名と監事候補者2名が指名され、厳粛な雰囲気の中で正式に信任されました。第2号議案では、第73年度収支補正予算(案)が無事に承認されました。

74年度室長・常務理事予定者紹介

地域室
田中　隆徳君

長崎JCの口が悪い「たかのり」のうちの一人の田中です。地域室の室長をお預かりさせていただきます。JC歴だけは重ねてきたので、今まで学んできたことを伝え、地域室として地域を良くしていくには、まずは我々が楽しみながら活動することが大切だと思います。殿村委員長を含め委員会メンバーが、楽しく1年間活動できるようにサポートして参ります。

人財室
溝上　雄斗君

まだまだ経験も浅く成長期真っ只中です。会員の資質向上を担いとする人財室で室長をお預かりすることとなりました。私といえば「GRIT＝やり抜く」。一人ではなく仲間とともに歩んでいけるからこそ、どんな時でも前を向いて日々成長できています！私が先輩にしていただいたように、委員長に寄り添い、会員一人ひとりの成長に寄与できるように心を燃やして参ります！

拡大室
熊谷　将希君

本年度の熱量をそのまま次年度に引き継ぎ、更に大きな拡大へ挑みます。全員での拡大活動を念頭に置きながら、特に背中を見せないといけない理事役員メンバーには厳しく行きますので覚悟しておいて下さい（笑）。厳しさの先には必ず大きな達成感があり、振り返れば笑顔になれるはずです。その喜びを共有できる一年にするために、ともに全力で駆け抜けましょう！

会務室
永江　圭介君

今年は仲間に支えられ、思い出深い1年を過ごしています。第74年度は、JC生活最後の1年。少し寂しさもありますが、仲間とともに過ごす時間を楽しみ尽くしたいので、走り切ります。真剣な時はしっかりと、楽しい時は思い切り笑って、自然と力を合わせながら歩んでいく。そんな1年を皆でつくり、最後に「やっぱりJCで良かった」と胸を張れるようにしたいです。

対外室
長尾　優輝君

対外室長を仰せつかりました、長尾です。JCに愛され、JCを知る人ぞ知る池田副理事長のもと自分自身が学びと経験を重ねつつ、場の雰囲気を一瞬で引き込む魅力と、抜群の頭脳とユニークな一面を併せ持つ鳥巣委員長に寄り添い支え、背中を押しながら、ともに成長したと言えるよう邁進していきます。対外事業を通じて多くを学び、1年間全力で楽しみます！

想伝室
深堀　和政君

行動力は誰にも負けない進撃の深堀です。JCに心臓を捧げすぎて会社で怒られています(笑)。引き続き広報になります。得意の日本語で、熱い想いを届けていきます。横内委員長は超優秀なので、そこに深堀イズムを注入し、一層力強く、魅力的な委員長に進化していくはずです。これから1年間、新しいメンバーとともに修練を重ね、変化を楽しみながらいきましょう。

総務室
佐藤　峻君

この度、第74年度総務室長の役を担わせていただくこととなりました。総務という分野は自分にとって全く正反対の位置にあると感じており、これまでの人生はノリと勢いで乗り越えて参りましたが、今回ばかりはそうはいきません。むしろ大きな自己成長の機会と捉え、これまで長崎JCで培ってきた学びを糧に、更に成長を重ねていけるよう努めて参ります。

常務理事
野口　将司君

常務理事予定者の野口将司です。いつのまにか次年度でJC歴4年目となります。今年度、委員長として経験したことや、先輩方から学んだことを活かし、専務理事の補佐、事務局長のサポート、対外との窓口として、1年をとおして長崎JCの下支えができるよう頑張りたいと思います。次年度の目標はダイエットをすることなので、あまり食事を与えないで下さい。

74年度委員長・事務局長予定者紹介

地域活性化委員長
殿村　恒司君

地域活性化委員長の殿村恒司です。次年度は自分達が楽しみながら成長ができる委員会にします。皆様のお力が必ず必要となりますのでご協力お願い致します!!長崎のまちの活性化を強く願い、事業にできる団体はJCしかないと感じました。これまで先輩方が積み重ねてきた歴史に恥じぬように事業に携わり、OBでもある祖父や父の活動内容を超えていきます。

人財育成委員長
森　大地君

2026年度、人財育成委員会の委員長を拝命致しました。理事長の掲げるスローガンに基づき「夢を語れるひと、その夢を実現できるひと」になるべく、会員一人ひとりが自らの可能性に気づき、挑戦する力を養えるような事業を構築して参ります。まずはモチベーションを高め、仲間とともに学び合える場をつくり、未来へ繋がる一歩を後押ししていきます。

会員拡大委員長
本間　圭亮君

拡大には情熱・行動・挑戦が必要です。兄貴肌の熊谷室長からは愛のある鉄拳制裁ともいえる叱咤激励を受け、海のように深い包容力をお持ちの当麻副理事長に慰めていただきながら、メンバーとともに楽しく、ときには厳しく活動に取り組んでいきます。私自身、猪突猛進な一面もありますが、頼られる存在となります。全員拡大!皆様のご協力宜しくお願いします。

例会交流委員長
田川　雄大君

例会交流委員長の職をお預かりします田川雄大です。委員長をやるなら例会委員会か交流委員会をやりたいと考えていたので、これは天命です。普段は会社員として働いていますので、本当に委員長が務まるかなぁと考えもしたのですが、やると決めたらやり抜きます。JC歴が短く、分からないことがたくさんありますが何とか爪痕を残せるように精一杯頑張ります!

渉外委員長
鳥巣　峻輝君

涉外委員長の役をお預かりする鳥巣峻輝です。対外事業の動員が大きな担いとなりますが、自分達が嫌々参加する事業には皆様も参加したいとは思えないと思います。委員会運営はまず自分達が楽しもうという方針にしたいです。また、会員の皆様には相応の時間とお金をかけて来ていただく以上、何かしらの学びを持って帰ってもらえるように案内していきます。

広報委員長
横内　裕太君

第74年度広報委員長予定者の横内と申します。これまで自分には委員長はできっこないと思い、JCに入会して5年が経ちました。同期入会の寺澤さんが次年度理事長に立候補すると聞いて、もし私に委員長のお声が掛かればチャレンジしようと考えていました。委員長としてメンバー皆と一緒に、明るく楽しい広報委員会を作り上げていきたいと思います。

総務委員長
田川　昭彦君

第74年度総務委員長予定者に選任されました田川昭彦です。総務委員会は経験したことがありますが、委員長としての責務を目の前に身が引き締まる思いです。他の委員会のような派手さはありませんが、長崎JCという組織がしっかりと活動・運動を展開していけるように、入念な準備を心掛け、メンバーの皆さんと一丸となって総務の役割を全うしていきます。

事務局長
中村　恭輔君

この度、第74年度事務局長の職をお預かりすることになりました中村恭輔です。鹿児島県出身で長崎歴は今年で17年目、長崎JCは来年で5年目になります。また、JCサッカー部では身体は大きくプレーは繊細に活動をしています。会員の皆様が楽しく円滑に活動ができるよう様々な面でサポートを徹底していきたいと思います。夢を描いて一生懸命頑張ります。

長崎JCを深堀（ふかぼ）る！

約400年の歴史を誇る「長崎くんち」。諏訪神社の祭礼として始まったこの行事は、今や市民の誇りであり、地域の絆を結ぶ象徴となっています。おくんちのにぎわいは観光や商店街を活気づけ、世代を超えた文化の継承を支え、地域コミュニティを強く結びつけるなど、まちづくりの側面も併せ持っています。

今回の「長崎JCを深堀る！」では、おくんちと長崎JCの関わりの歴史や、実際に参加した方々の声を通じて、その魅力を深掘りしていきます。

おくんちの歴史

1634年、住民のキリシタン信仰が根強いことを恐れ、鎮圧するために助成金を与え、国家的な事業として「くんち」が奨励されました。1642年には63カ町あり、21カ町ずつ3年に1度の出番で奉納が行われていましたが、1672年には77カ町と増え、7年に1度となり、現在まで続いています。

時代の流れとともに「くんち」本来の宗教的意義は薄れ、市民の祭りとして定着していきました。歴史が文化となり、そして伝統へと昇華し、現在も尚、市民に愛されています。

長崎JCの「おくんち」の取り組み

1957年、おくんちの衰退が危惧され、長崎JCでは、くんち特別委員会が設置されました。識者を招き、市民アンケートを実施して問題点を洗い出し、おくんちの在り方について提言を行いました。当時すでに、世話人や参加者の減少、経済的困難、敬神の念の希薄化などの理由で継続が難しくなっていました。

その後も継続的に議論と活動が続けられ、1972年には経済開発委員会が「くんちを聞く会」を開催し、歴史や実情、問題点を共有する会合を開きました。更に1973年の龍踊り、1975年・1977年のコッコデショを「長崎まつり」で市中に繰り出し、市民におくんち参加を呼び掛けました。

長崎まつり
52年4月29日
長崎青年会議所長崎まつりにコッコデショを出す。
コッコデショが来た　見物人がふりむいてながめていた。

おくんちを聞く会
長崎青年会議所
くんち問題で活発な質問が出された

1976年には、77カ町あった踊町は56カ町に減少し、そのうち26カ町が踊町を放棄する現実があります。長崎JCでは、長期計画委員会が設置され、「くんち愛好会」を発足。おくんちを盛り上げるためのJCの役割について討論が行われ、どのように関わり、参加していくかを模索しました。その結果、地域活動を通じて踊町の内部から支えていく姿勢が生まれました。

万才町 踊町の復活

昭和53年9月18日 月曜日

金子 叔司さん

市民総参加へ口火

期待のＪＣ方式

「提言」から「実践」に移す

当時、おくんちは踊町民しか参加できないしきたりがありました。しかし1978年、JC事務局が万才町に所在していたことから、会員も踊町民と見なすという解釈から、参加の道が開かれました(JC方式)。約20年にわたる研究と発信の積み重ねの成果として、「伝統芸能の保存」「継承者の育成」「踊町以外の住民の参加の制度作成」など提言を盛り込み、当時の金子叔司理事長、川添弘之特別顧問の2名が万才町自治会役員会に参加し、度重なる話し合いを重ね、おくんちへの出場を懇請し、参加を勝ち取りました。

途絶えていた万才町が、戦後初めて踊町として復活となりました。これは長崎JCが支援したものであり、新しい形での踊町参加の可能性を示す象徴的な出来事として注目を集めました。

阿蘭陀万歳(おらんだまんざい)を実施

小屋入りには、約45名のＪＣメンバーが参加

2024年、10年ぶりの奉納を行った「麹屋町」。3トンを超える川船の根曳を担った楊 和樹君に、魅力を聞きました。

深堀：稽古や準備を通して、大変だったこと、そして一番達成感を感じた瞬間はいつでしたか？

楊：おくんちは、ただ楽しい思い出づくりだけじゃないんです。子ども達にとっても、自己成長の場でもあってほしいので、ときには厳しく接することもあります。その分、保護者の方に理解していただくのが大変だった…辛い練習を乗り越えて、本番に諏訪神社で神様と観客を前に演技を披露した瞬間——あのときが「やってきて本当に良かった」と心から思える瞬間なんです。

深堀：おくんちをとおして、地域の人々や仲間との嬉しかったエピソードはありますか？

楊：一度おくんちに参加した子ども達が、7年後にまた踊りたいと長崎に就職して、戻ってきた時は、嬉しかったです。その子ども達が町内や地域の行事にも積極的に関わってくれるようになって、地域の絆がいっそう深まったと実感しました。

深堀：この経験を通じて、ご自身にどんな変化や学びがありましたか？ また次世代に伝えたいことはありますか？

楊：おくんちが好きになると、自然と長崎のいろんな行事にも興味を持つようになって、気づけば長崎への郷土愛が芽生えます。ただ参加するだけじゃなくて、ドップリと身を置くことで、人と地域の繋がりの大切さを学ぶことができたんです。まだ参加したことがない方は、是非一度おくんちに関わってみて下さい。必ず一生の思い出になりますよ。

2023年度 万屋町「鯨の潮吹き」川原 倫彦君

2024年度 五嶋町「龍踊」石橋 克明先輩

2025年度 新大工町「曳壇尻」大﨑優希君が根曳で出ます。皆さん見に来て下さい！

おくんちは各町内ごとに一つの目標を持ち、結束を強めることで長崎全体に大きな影響を与えてきました。その想いは「おくんちを愛する心」から「まちを愛する心」へ、そして「長崎を愛する心」へと広がります。古き良き伝統は絶やすことなく、子や孫の世代まで引き継がれ、郷土愛や誇りを育んできました。

長崎くんちは、単なる伝統行事にとどまらず、「文化を繋ぎ、人を育て、地域の誇りを育み、経済を動かす」まちづくりに直結した存在として、これからも長崎に力を与え続けるでしょう。

九州コンファレンス2025 in 延岡

8月23日(土)24日(日)、九州コンファレンス2025in延岡が開催され、長崎JCからは47名が参加しました。なんと参加者数は九州地区全76LOMで2位でした。

今大会は「九州はひとつ NEXUS」を合言葉に掲げて開催されました。かつて九州地区協議会は「九州を高速道路で一つに繋ごう」という目標を掲げ、東九州自動車道（延岡南～佐伯間）の整備に向けて大規模な署名活動を行い、平成25年に念願の開通に繋げました。こうした経緯からテーマ設定されたことが2025年度会長 和田 光平君より明かされ、閉会セレモニーでは1993年度会長だった白石政嗣先輩らが登壇され当時の思い出を語られました。今大会開催に向けては和田会長が九州内の全LOMを回り、想いを繋ぎました。大懇親会、LOMナイトを通じて延岡の食にも舌鼓を打ち、有意義な2日となりました。ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。

渉外広報委員会 松尾 諒

活動報告

資源の大切さを学ぼう！ ナガサキミライ★キッズの大冒険

まなぶ！つくる！エコアドベンチャー

事業当日に皆が作った【アート看板】は長崎ペンギン水族館、【アートベンチは】長崎のもざき恐竜パークで展示されています。

一般社団法人広島青年会議所 創立75周年記念式典・祝賀会

9月5日(金)、広島の地で一般社団法人広島青年会議所創立75周年記念式典が開催され、種田理事長、寺澤専務理事、深堀渉外広報委員長が参加しました。式典では、広島JC林理事長から第70代から第74代までの歴代理事長への感謝の言葉とともに、これから広島JCが未来を切り拓いていくと決意を込めた熱いご挨拶がありました。

広島JC第75代理事長
林 秀樹君

渉外広報委員会 中山 笑里

第74回全国大会佐賀大会

10月11日(土)

Plus Ultra 理想の先へ

全国大会は、日本JCが一年間をかけて取り組んできた運動の集大成であり、成果の発表そして次年度への理念・方針の継承を行う大会です。また、本年度の長崎JCからは、9名の会員がご卒業されます。多くの会員で、長崎JCでご尽力されてきた卒業予定者をお祝いしましょう！

大会の詳細はコチラ

フォーラム以外にも…

- 様々なコンテンツを疑似体験
- 佐賀県の地元のグルメエリア
- イベント、パフォーマンス
- バルーン係留搭乗体験

など様々な催しが開催されます。

佐賀JC記念事業はコチラ

All Jayceesシン・大懇親会
開催のお知らせとご報告

【開催概要】

日時：2025年10月31日
正会員受付：17時00分
特別会員受付：17時30分より
開宴：18時30分
場所：ホテルニュー長崎3階鳳凰閣

告知活動のご報告

本年度5月より、特別会員の皆様が集まる様々な会合にお邪魔させていただき、事業告知を実施しました。現在、特別会員の出席は130名（9月11日現在）となっています。当日は正会員と特別会員の皆様で有意義な交流の時間となるよう、担当委員会として準備を頑張りますので、当日は宜しくお願い致します！

交流委員会 野口 将司

じゃがいも倶楽部
All Jaycees 開催記念 10月例会のご案内

9月5日(金)開催　9月例会

■日 時 令和 7 年 10 月 31 日(金)
第一部 7 時 45 分集合/8 時 00 分スタート
第二部 9 時 15 分集合/9 時 30 分スタート
■場 所 長崎国際ゴルフ倶楽部
住所:諫早市小ヶ倉町 51 TEL:0957-22-4086
■プレー費 9,800 円
(セルフプレー・カート・昼食 基本料金付・ロッカー代 /330 別)
※第一部組はスループレー後に昼食
※第二部組はハーフ終了後に昼食
■会 費 3,000 円
※当日の表彰式は行わず、後日、順位表と景品をお届け致します。

【申込締切】
令和 7 年 10 月 10 日(金)まで
＊ご不明な点がございましたら
北島 秀基(080-1749-9245)まで連絡下さい。

一般社団法人長崎青年会議所×HOPE80

平和推進事業

「HOPE NAGASAKI」

～長崎から未来へ希望を繋ぐ～

日時 2025年9月19日(金)18:00 - 19:40

※受付開始 17:20 会場にはパネル展示もございますのでお早めにお越し下さい。

場所 平和会館ホール

〒852-8117 長崎県長崎市平野町7-8 長崎市平和会館3F　TEL095-844-1231

HOPE80とは

かつて敵同士だった国のリーダー達の子孫が集まり、過去の対立を超えて、平和の未来をつくるために行動するプロジェクトです。東條英機、トルーマン、ガンジー、チャーチル、ナチス将校、アウシュビッツ生存者。歴史に名を刻まれた人物の孫や曾孫達が、憎しみではなく、対話の道を選びました。「長崎・誓いの火」を最初の種火として生まれ、60万人以上が平和の祈りを込めた「希望の火」を世界に広げ未来の平和を目指しています。

シンポジウム

世界各国から集った「HOPE80」のメンバーが、世代を超えて“平和”について語り合う特別シンポジウム。被爆地・長崎から世界へ「平和な未来をつくる」という共通の願いのもと、第二次世界大戦に関わった歴史的指導者や当事者の子孫達が、自らの体験と想いを共有します。戦争責任や家族の歴史に向き合った葛藤、核兵器廃絶や非暴力の思想、和解と共生の実践など、多様な価値観が語られます。過去から現在、そして未来へ、今を生きる私達が平和について考え、当事者意識を持つきっかけとなる時間を、是非ご一緒下さい。

右記QRコードよりお申し込み下さい。

申込期限：2025年9月12日(金)

※申込締切日を過ぎても受付可能な場合がございます。お気軽にお問い合わせ下さい。

シンポジウム登壇者

米国大統領ﾄﾙｰﾏﾝの孫
ｸﾘﾌﾄﾝ・ﾄﾙｰﾏﾝ・ﾀﾞ ﾆｴﾙ

東條英機の曾孫
東條 英利

チャーチル英国首相の曾孫
ルーシー・サンズ

マハトマ・ガンジーの曾孫
トーシャ・ガンジー

ナチス幹部の孫
ジェニファー・テーゲ

アウシュヴィッツ生存者の孫
マガリ・ブロシュ

9月19日(金)18時より、平和推進事業「HOPE NAGASAKI～長崎から未来へ希望を繋ぐ～」を開催します。かつて敵対したリーダーの子孫達が集い平和の実現を目指す「HOPE80」の皆様をお迎えし、過去の記憶や教訓、世界の多様な考えに触れることで、平和について当事者意識を持つきっかけとしていただけますと幸いです。事前申込が定員の350名を突破しましたが、ご興味のある方はお気軽にお問合せ下さい。

長崎JCとは

※クリックで紹介動画が見られます

長崎JCは1952年12月に発足し「明るい豊かな社会」の構築を念頭に置いて、我々の郷土長崎のみならず、長崎県、九州、日本、そして世界に貢献できる様々な事業を展開して参りました。

我々、長崎JCは「修練」「奉仕」「友情」という三信条のもと、20歳から40歳の青年達が次世代を担う地域のリーダーとなるべく、様々な研修やセミナーを重ねて、個人の資質を向上させ、地域社会に貢献できる人材の育成に努めております。

また、より良い長崎にするために奉仕の精神と郷土愛を胸に、活発な議論を交わし、知恵を出し合いながら「ひとづくり」「まちづくり」のための様々な事業を展開しております。そのような事業を通じてともに汗をかき、達成感を共有できるかけがえのない仲間を作ることができることも魅力のひとつです。

報恩謝徳
JUNIOR CHAMBER INTERNATIONAL NAGASAKI 2025
敬意と感謝を胸に

フォロー、登録をお願いします。

INSTAGRAM

FACEBOOK

X

YOUTUBE

長崎JCホームページ

会員名簿

新着情報

過去のJCニュース

今後のJCニュースに活かして参ります！！アンケートのご回答を宜しくお願い致します。

一般の方は
👉コチラ

特別会員は
👉コチラ

正会員は
👉コチラ